

せいなんだより 2017年10月号



〒814-0002 福岡市早良区西新 3-12-14
Tel 092-846-9207 Fax 092-846-9208



早良区子どもプラザ／西南子どもプラザ(愛称“せいなん”)は、福岡市の委託を受けて西南学院大学が運営しています。

10月の予定

開館時間: 午前10時～午後4時

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
休館日	休館日	なつめ先生 (10:30～11:30) たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)	おひげの先生 (13:30～16:00)	さおり先生 (10:00～11:30)	おとうさん、 きんしゃい!
8	祝9	10	11	12	13	14
休館日		たろうちゃん (10:30～12:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)		保育コンシェル ジュさん(要予約) (10:30～12:00) さおり先生 (10:00～11:30)	読み聞かせ 10:30～10:50 11:00～11:20
15	16	17	18	19	20	21
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	保健師さん (10:30～12:00) ふくろう先生 (12:30～14:30)	International Day (10:00～12:00) おひげの先生 (13:30～16:00)	ミニ講座 (10:30～11:30) さおり先生 (10:00～11:30)	
22	23	24	25	26	27	28
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)	おひげの先生 (13:30～16:00)	さおり先生 (10:00～11:30)	絵本タイム 10:30～10:50 11:00～11:20
29	30	31				
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)				

*9日(体育の日)も通常通り開館しています。

さおり先生の「あわてんぼう母さんの月イチ日記」

こんにちは。今月は創造性についてお話しします。

生活していく環境の変化が速い今日、創造的であること、変化に対応して新しい試みができることはますます重要になっています。人の創造性の発揮は、もともとの個人の創造的な能力の高さと教育やその場の状況など環境の両方が影響します。娘は、どちらかといえば保守的で、変化が大好き!という感じではないようです。私がいつもと違う食材を入れた食事を出すと、「これじゃないほうがいい!」とよく言います。私がある日、「いろいろやってみるほうが面白いんだよ。新しいものを入れてみて、おいしかったらまた入れればいいし、おいしくなかったら、入れるのをやめればいいんだから。」と言ったら、この言葉が心に響いたようで、自分から新しいメニューを提案するようになりました。ただ、その提案されたメニューは、例えば、レタス、トマト、コーンに塩を混ぜて、その上に長芋のすりおろしをかけるサラダなど(うーん、それはどうかなあ?)と思うものが多いですが、「それはいいね。今度作ってみよう!」と言って作っています。

ただし、いつも娘が出すアイデアを実行することはできません。例えば、娘が「お月見の時には、机とイスを外に出して、外でお月見しよう!」というアイデアを出したときには、「机は重くて外に持っていけないから、難しいね。」と言いました。娘のアイデアは、実行が難しいことがかなり多いのです。ただし、最初から「それは無理よ。」とは言わずに、「その考えはいい考え!」と言ってから、「でもね・・・」とできない理由を言うようにしています。保守的な娘に対しては、創造的アイデアを出すことを楽しめる環境づくりを心掛けています。最近では、とにかくいろいろなことに自分のアイデアを出します。

西南子どもプラザは、創造性を発揮できるおもちゃがいっぱいです。お子様と一緒に、いろいろな遊び方を楽しんでください。

プラザ長を務めます柳澤さおりです。本学人間科学部で、社会心理学を担当しています。娘とわいわいと大騒ぎの毎日を過ごしています。



せいなんスタイル

爽やかな季節になりました。読書の秋になり、子どもたちも絵本にふれる機会が増えたことでしょう。

子どもたちは絵本を読む(見る)時、自分の遊びや生活の体験と、絵本の内容を結びつけていきます。例えばブランコの絵本を読んだ時、子どもはブランコに乗った時の気持ちや頬にあたる風を思い出し、より深く絵本の世界に入っていきます。またおいしい果物を食べた時、果物の絵本を思い出し、絵本の登場人物になって「はいどうぞ」と人にあげようとします。様々な経験が絵本の世界と結びつき、言葉の発達や精神的な成長に結びついていくのです。この時大人は、発達を促すためとか、字や色を覚えるために読むのではなくて、一緒に絵本そのものを楽しむことがとても大切です。

同じ絵本を繰り返し読みたがるお子さんも多くいますが、面倒がらず何度も読んであげてください。そうすることで、心が安定し、新しい発見をしたり、言葉の使い方を覚えたりします。0～3歳くらいのお子さんは、絵本を通して自分に向けられたお母さんやお父さんの愛情を感じ、安心感の中で、絵本の中の世界へ入っていくことができます。秋のひとつき、親子でゆったりと絵本の世界を楽しまれてはいかがでしょうか。

リレーコメント

初めまして、どうぞよろしく。9月から当プラザのスタッフの仲間入りをしました。小さな人たちと一緒に職場は10年ぶりです。その間に孫ができ、95歳の母を見送りました。その10年間に世の中も未曾有の出来事が続きました。良いことも有りましたが不安にさせられることの方が多かった気がします。そしてそれらは今なお続いています。そんな中で子育てをしているお母さん、お父さんは文句なしに、すごいと思います。何か手助けできたら嬉しいです。子どもたちと一緒にお母さん、お父さんがプラザで心地よい時間が過ごせるように心を配れたらと思います。
(西南子どもプラザスタッフ 塩田 伸子)

行事のご案内

ミニ講座

「健康で快適な住まいのために」

講師：早良区保健福祉センター衛生課
徳島 智子さん

お子さんが小さいうちは、家で過ごされることが多いですね。

そんな家の空気が汚れていると、シックハウス症候群と呼ばれる病気にかかりやすくなります。シックハウス症候群の原因には、化学物質や身近なカビ・ダニなどがあります。新築・リフォーム時に気を付けてもらいたい化学物質のことやカビが生えやすい場所別の対策、ダニが増えるのを防ぐ効果的なお掃除方法について実演を交えてお話しします。

20日(金) 10:30～11:30

*ミニ講座は、内容や日時を変えて月1回行います。

～先月のミニ講座より～

元本学人間科学部心理学科教授・OB 教員ボランティアの井上哲雄さん(おひげの先生)に「子どもの個性と子育て」というテーマでお話をいただきました。

親に個性があるように、子どもにも生まれ持った個性があります。活動的な子、慣れるのに時間がかかる子など、子どもの気質や特性を理解することで、その子への関わり方が見えてきます。また、子どもとお母さんが影響しあって変わっていくことを母子相互作用と言い、日々どのようなやり取りをするかによって、子どもの性格や気質、さらにはお母さんの気質や関わり方も変わっていきます。

それから、子どもの気質や能力に矛盾する親の期待や子育てのやり方は、子どもにとってストレスになります。子どもの気質に沿った子育ては、順調な発達へとつながっていきます。また、親が子どもの個性をどう捉えるか、例えば、元気な子と捉えるか、がさつな子と捉えるかでその関わり方も違ってくるのお話でした。

子どもの個性を把握し、子どもの思いやペースを尊重した適切な応答を心がけていけるとよいですね。

☆プレママ・プレパパの訪問も随時歓迎します。お手数ですが、不審者対策のためプレママ・プレパパであることが確認できるもの(母子手帳など)をお持ちください。



西南子どもプラザ

検索 



この“せいなんだより”は、前月下旬(25日頃)から西南子どもプラザで配布、また西南学院大学ホームページにも掲載しています。